

事業名：河川等維持事業

都市建設課参事（治水）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和57年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市が管理する河川及び調整池
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	26	26	26	27
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	3	4	3	6
活動指標 2						
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	3	3	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,231	5,615	7,031	8,716
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	8,639	8,020	9,448	11,063

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	河川増水時の氾濫を抑制するため、河川・集水路断面及び調整池の機能を確保	普通河川、準用河川、集水路他床ざらい工事 6.5 12千円 普通河川洗掘防止補修工事 1.2 04千円 河川緊急維持修繕工事 1.0 00千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性			減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規					○
休止 廃止 その他					

事業名：排水機場維持管理事業

都市建設課参事（治水）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
排水機場	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	19
対象指標 2						
活動指標 1	維持管理経費	千円	50,342	47,316	52,648	66,400
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	50,342	51,547	52,618	60,940
正職員人件費 (B)		千円	4,816	4,810	4,834	4,694
総事業費 (A+B)		千円	55,158	56,357	57,452	65,634

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内排水機場の維持管理	排水機場管理業務 51,881千円 排水機場緊急運転業務 5,000千円 排水機場ポンプ・機械関係修繕 1,859千円 排水機場建屋関係修繕 2,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 都市建設課参事（治水）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
河川防災ステーション									
手段（事務事業の内容、やり方）									
河川防災ステーションの維持・管理を行う									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	開設日数	日	309	308	307	308
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件数	2	3	0	3
成果指標 2	利用者数	人	66,756	70,921	66,756	70,921
事業費 (A)		千円	16,218	17,266	16,745	18,747
正職員人件費 (B)		千円	4,013	4,810	4,834	4,694
総事業費 (A+B)		千円	20,231	22,076	21,579	23,441

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別河川防災ステーションの管理・運営	館内維持管理業務 18,497千円 施設修繕 250千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		改革方向性（コスト）		
		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成27年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
同計画に基づき耐震化を促進するために民間住宅の所有者に対して無料耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	1,390	1,390
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,800	1,800	1,800	1,800
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	13	1	5	5
成果指標 1	補助利用率	%	0	0	100	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	0	0	15	15
事業費 (A)		千円	0	0	1,800	1,800
正職員人件費 (B)		千円	6,020	6,012	6,042	5,477
総事業費 (A+B)		千円	6,020	6,012	7,842	7,277

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 無料耐震診断 専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事に対して補助金を支出 	耐震診断・耐震改修への補助 1,800千円（半分は国費による交付金）

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅	
手段（事務事業の内容、やり方）	
新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 H26～H27 B棟建設，H27 集会所建設，H28～H29 C棟建設 H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
新栄団地の建替を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	1,223	1,223	1,271	1,219
対象指標 2						
活動指標 1	建設戸数	戸	0	0	48	0
活動指標 2	除却戸数	戸	0	0	0	44
成果指標 1	住戸改善率	%	16.1	16.1	19.3	20.1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	39,291	265,726	626,553	352,325
正職員人件費 (B)		千円	8,026	8,016	8,056	7,824
総事業費 (A+B)		千円	47,317	273,742	634,609	360,149

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地集会所実施設計委託 新栄団地B棟建設工事（建築工事・各種設備工事）【H26-H27継続事業】 新栄団地既存住棟除却工事（8棟44戸） 	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地集会所実施設計委託 14,267千円 新栄団地B棟建替建築工事 260,328千円 新栄団地既存住棟除却工事 61,646千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室都心整備課 都心整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
都心地区（野幌駅周辺地区）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・街路事業等を活用した道路整備を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						
活動指標 1	道路整備延長	km	0	0.17	0.35	0.34
活動指標 2						
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	1	5	15	21
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	285,040	209,250	262,674	213,126
正職員人件費 (B)		千円	56,182	60,120	60,420	58,680
総事業費 (A+B)		千円	341,222	269,370	323,094	271,806

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（1工区）の整備工事 天徳寺グリーンモールの整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（1工区）の工事費等 112,521千円 天徳寺グリーンモールの工事費等 87,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上	○		
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室都心開発課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいえべつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上				
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成36年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
土地区画整理事業施行地区									
手段（事務事業の内容、やり方）									
土地区画整理事業により公共施設等を整備するとともに、宅地の利用増進を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架と併せ、土地区画整理事業により南北一体化した市街地整備を図る。 ・土地区画整理事業により宅地を再編し土地の利用増進を図る。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						
活動指標 1	仮換地指定進捗率（累計）	%	45	64	69	87
活動指標 2	物件移転進捗率（累計）	%	27	42	62	82
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	23	34	52	73
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	397,218	789,245	393,941	1,284,544
正職員人件費 (B)		千円	72,234	80,160	80,560	78,240
総事業費 (A+B)		千円	469,452	869,405	474,501	1,362,784

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・野幌駅南通、北口駅前広場の工事 ・物件補償 ・物件調査委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等工事費 492,400千円 ・物件補償費 628,440千円 ・物件調査等委託費 72,200千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性			減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

顔づくり推進室都心整備課参事（活性化事業推進）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
野幌駅周辺地域 「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。 ・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	ha	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	573	350	350	350
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	12	11	10	10
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	5,876	8,324	5,000	5,000
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	56,800	55,600	53,400	52,800
事業費 (A)		千円	1,725	1,169	1,994	1,472
正職員人件費 (B)		千円	20,065	20,040	20,140	19,560
総事業費 (A+B)		千円	21,790	21,209	22,134	21,032

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化活動拠点（ほっとワールドのつぼ）における江別市施設占用部分に係る維持負担金 ・江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化活動拠点維持負担金 803千円 ・江別の顔づくり支援促進事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止 その他				

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公園・緑地									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園・緑地とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	公園緑地数	箇所	228	228	228	229
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	136,407	134,342	134,342	149,498
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	177,929	176,703	184,689	195,789
正職員人件費 (B)		千円	7,223	6,413	7,653	13,692
総事業費 (A+B)		千円	185,152	183,116	192,342	209,481

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 遊具等の公園施設修繕 樹木剪定（危険木、高木） 他 公園砂場砂入替、公園ベンチ及び外柵改修 他 	<ul style="list-style-type: none"> 一般委託料 149,498千円 施設等修繕費 11,000千円 維持補修関係委託料 17,000千円 維持補修関係工事費 11,900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等公園施設の改築・更新を計画的に進め、今後は公園施設修繕費等のコスト縮減を図る。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民参加による再整備公園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、再整備が必要な公園の全面改修整備を実施する。 整備内容については地域の子も達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。 平成26年度より、社会資本整備総合交付金事業「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」として国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	再整備公園数	カ所	1	1	0	1
対象指標2						
活動指標1	ワークショップ開催数	回	4	0	4	4
活動指標2						
成果指標1	累計整備公園数	カ所	9	10	10	11
成果指標2						
事業費 (A)		千円	32,108	31,106	900	9,824
正職員人件費 (B)		千円	4,816	3,206	2,417	7,824
総事業費 (A+B)		千円	36,924	34,312	3,317	17,648

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園長寿命化計画に基づく公園再整備工事（はんのき公園） 面積：約0.6ha 遊具更新、バリアフリー化等 実施設計委託費、ワークショップ運営経費 	<ul style="list-style-type: none"> 一般工事費 7,200千円 一般委託料 2,600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性	平成26年度より、社会資本整備総合交付金事業「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」として国の補助を受けて実施する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：町名板再整備事業

区画整理指導課 区画整理指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・来訪者 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付 2. 道路管理者及び公安委員会の協議後、市街化区域内（周辺部を含む）の定周期信号機に町名板を設置 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	24	28	169	337
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	7	7	5
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	20	20	20	15
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	515	2,698	3,592	3,207
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	2,738
総事業費 (A+B)		千円	2,923	5,103	6,009	5,945

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 街区町名板貼付 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び貼付意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ~住民及び来訪者への案内向上を図る ・幹線道路の信号柱に信号機型町名板を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区町名板製作費等 765千円 ・町名板貼付意向調査役務費 34千円 ・街区町名板設置委託 250千円 ・街区町名板現況調査委託 57千円 ・信号機型町名板設置委託 2,100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	団地集会所
手段（事務事業の内容、やり方）	団地集会所の維持・管理に要する経費
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	集会所利用者が安心して利用できる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						
活動指標 1	利用可能日数	日	308	310	306	308
活動指標 2						
成果指標 1	集会所使用件数	件	800	619	700	700
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,790	2,774	2,882	2,963
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	3,593	3,576	3,688	3,745

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・ 団地集会所を維持管理する	・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 199千円 ・ 集会所光熱水費 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅入居者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く。）。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	1,076	1,060	1,049	1,050
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	2,219	2,187	2,137	2,140
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	476	479	520	500
活動指標 2						
成果指標 1	入居率	%	90.2	89.1	88.1	88.2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	53,970	41,598	43,492	45,605
正職員人件費 (B)		千円	12,842	13,627	13,695	13,301
総事業費 (A+B)		千円	66,812	55,225	57,187	58,906

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の小規模修繕 住宅設備の保守点検 家賃の決定及び徴収・滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の修繕費 21,681千円 保守点検等の委託費 12,650千円 ミスマッチ解消に係る移転補償金 342千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所 管理係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路 ・違反広告物 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩支庁への除却数の報告（年2回） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	877	878	878	878
対象指標 2						
活動指標 1	広告主への指導件数	件	17	19	20	20
活動指標 2						
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	1,823	2,444	2,000	1,500
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,373	1,363	1,372	1,372
正職員人件費 (B)		千円	4,013	4,008	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	5,386	5,371	3,789	3,719

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩支庁への除却数の報告（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手等消耗品 24千円 ・除去活動員の保険料 6千円 ・広告物調査、除去委託経費 1,342千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	大麻市営駐車場
手段（事務事業の内容、やり方）	施設の管理運営を指定管理者に委託する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理委託料	千円	7,325	7,326	7,330	0
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	40,686	41,485	40,000	40,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0
事業費 (A)		千円	7,325	7,326	7,330	8,489
正職員人件費 (B)		千円	1,605	5,611	3,222	3,130
総事業費 (A+B)		千円	8,930	12,937	10,552	11,619

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場の運営 施設の管理運営を指定管理者に委託する 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 8,489千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：私道整備事業補助金

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略							
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
一般の通行に供されている私道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
一般の通行に供されている私道の整備で、自治会が行う整備事業（舗装、側溝、砂利敷等）について、市が定める基準額の2分に1以内を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
私道利用者が、安全で快適に利用できる環境を確保する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	一般の通行に供されている私道延長	km	1.86	1.81	1.81	1.7
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	100	1,575	104	262
活動指標 2	申請件数	件	1	1	1	1
成果指標 1	実施延長	km	0.4	0.1	0.16	0.11
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	100	1,575	104	262
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	501	1,976	507	653

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 一般の通行に供されている私道の整備で、自治会が行う整備事業（舗装、側溝、砂利敷等）について、市が定める基準額の2分に1以内を補助する。 私道整備（砂利敷）延長111m 	<ul style="list-style-type: none"> 砂利敷延長111m 262千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：自動車対策事業

土木事務所 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	放置自動車
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> ・市の道路パトロール及び市民の通報により撤去。 ・所有者が確認できない場合は、市の負担で行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	放置自動車により生じる障害の除去

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	放置自動車台数	台	0	0	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	市の撤去した放置自動車数	台	0	0	3	3
活動指標 2	所有者が撤去した台数	台	0	0	0	0
成果指標 1	放置自動車撤去率	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	93	95
正職員人件費 (B)		千円	803	802	403	391
総事業費 (A+B)		千円	803	802	496	486

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・ 放置自動車の撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル料金 33千円 ・ 搬送料 62千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市では自治会が行う道路の排雪に対し、排雪用ダンプカー（運転手付き）と排雪用ロータリー車（運転手抜き）を半日以上以上の単位で年1回を限度に無料で貸し出しています。安全確保のため誘導員や雪を集める為のショベルローダーは自治会で用意します。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民の冬期間における道路の交通確保と置き雪解消。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	830	831	831	827
対象指標 2						
活動指標 1	排雪延長	km	333	335	334	339
活動指標 2						
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	75	75	75	75
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	91	93	93	95
事業費 (A)		千円	203,475	161,014	116,615	173,828
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	205,080	162,617	118,226	175,393

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 排雪用ダンプトラック賃借料 ロータリー除雪車賃借料 	<ul style="list-style-type: none"> ダンプトラック、ロータリー除雪車賃借料 173,828千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名：除排雪事業

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市が指定する路線等について、10cm以上の降雪や地吹雪があった場合、朝7時までに歩道の除雪作業が完了するよう委託業者の除雪車が出動します。また、市の指定する路線について2車線確保が困難な場合や、交差点の見とおし等が悪い場合運搬排雪を実施します。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民の冬期間における道路交通の確保を図り、行政と住民の連携により快適な住環境をつくる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	830	831	831	827
対象指標 2						
活動指標 1	除雪延長	km	726	726	726	727
活動指標 2	排雪延長	km	124	124	123	123
成果指標 1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	2	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	776,977	814,098	613,517	740,275
正職員人件費 (B)		千円	16,855	15,230	15,306	14,866
総事業費 (A+B)		千円	793,832	829,328	628,823	755,141

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 農村地区除雪委託 雪捨て場用地賃借 	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託料 641,615千円 農村地区除雪委託料 60,603千円 雪捨て場用地賃借料 6,855千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：私道除雪補助金

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略							
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト							
			プログラム							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	一般の通行に供されている私道
手段（事務事業の内容、やり方）	一般の通行に供されている私道の除雪で、自治会が行うものについて、市が定める基準額の2分の1以内を補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	一般通行に供されている私道を除雪することで、市民の冬期間における道路交通を確保する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	一般の通行に供されている私道延長	km	1.86	1.81	1.81	1.7
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	751	739	740	935
活動指標 2						
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.86	1.81	1.81	1.7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	751	740	740	935
正職員人件費 (B)		千円	401	401	403	391
総事業費 (A+B)		千円	1,152	1,141	1,143	1,326

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 一般の通行に供されている私道の除雪で、自治会が行うものについて、市が定める基準額の2分の1以内を補助する。 私道除雪補助金10自治会 L=1.7km 	<ul style="list-style-type: none"> 私道除雪補助金 935千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性(成果)	向上	維持	低下

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市道延長	km	830	831	831	827
対象指標 2						
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	179	142	140	140
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,644	4,653	4,655	4,800
正職員人件費 (B)		千円	803	802	806	782
総事業費 (A+B)		千円	5,447	5,455	5,461	5,582

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	・不法投棄物の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	・委託料 4,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別駅跨線人道橋整備工事（駅周辺バリアフリー化）

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成27年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別駅跨線人道橋
手段（事務事業の内容、やり方）	JR江別駅と上江別地区を結んでいる「江別駅跨線人道橋」の架換えを行うため、予備設計、実施設計、下部工、工場製作、上部工、周辺環境整備の6項目を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	エレベーター設置などバリアフリーに対応した跨線人道橋の架換えを行うことで高齢者等の歩行者や自転車が安全で快適に通行できるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	整備対象人道橋数	橋	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	当該年度整備対象項目数	項目	1	2	2	1
活動指標2						
成果指標1	整備済み項目の割合【平成24年度からは「整備済み状況の割合」に変更】	%	33	50	67	83
成果指標2						
事業費 (A)		千円	25,309	115,286	192,078	554,400
正職員人件費 (B)		千円	4,816	7,615	7,653	7,433
総事業費 (A+B)		千円	30,125	122,901	199,731	561,833

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	積算資料作成等 市施工工事：舗装工、ロードヒーティング工、エレベーター・照明設備・防犯施設設置工等 JR負担金（JR施工工事費等）：上屋工、エレベーター棟工、旧橋撤去工等	委託費用 2,000千円 市施工工事費 109,025千円 JR負担金（JR施工工事費等） 443,375千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 道道整備関連用地取得事業

管理課 総務係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	平成34年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
土地（道道接続部分）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者の同意に基づく用地取得 ・売買契約締結後の登記事務 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
公共事業（道道と市道の接続部分）のために必要な土地を確保する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	のべ対象地権者数	人	0	0	6	6
対象指標 2						
活動指標 1	交渉回数（年度ごと）	回	0	0	16	12
活動指標 2						
成果指標 1	のべ契約者数	人	0	0	4	5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	4,270	376
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,611	1,565
総事業費 (A+B)		千円	0	0	5,881	1,941

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者の同意に基づく用地取得 ・売買契約締結後の登記事務 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地購入費 376千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
老朽化による施設の更新等の修繕工事	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	830	831	831	827
対象指標 2						
活動指標 1	実施延長	km	5	4.4	4.1	5.1
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	823	956	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	518,493	454,695	498,126	516,746
正職員人件費 (B)		千円	12,039	10,421	10,473	10,171
総事業費 (A+B)		千円	530,532	465,116	508,599	526,917

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・工事路線現況測量 ・路面凍上改修工事、道路再整備工事等 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 4,636千円 ・工事請負費 508,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
		向上		
		維持		
		低下		

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市道									
手段（事務事業の内容、やり方）									
道路の損傷箇所の修繕・復旧対応									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	830	831	831	827
対象指標 2						
活動指標 1	市道管理延長	km	830	831	831	827
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	823	956	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	133,449	142,665	136,540	149,456
正職員人件費 (B)		千円	8,829	8,818	8,862	8,606
総事業費 (A+B)		千円	142,278	151,483	145,402	158,062

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装、雨水樹等緊急補修工事 舗装補修工事 原材料費（砂利、常温合材等） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 49,856千円 工事請負費 82,600千円 原材料費 17,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：高砂駅周辺整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成26年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
歩道の狭隘箇所									
手段（事務事業の内容、やり方）									
鉄東線（高砂駅南側）バス停留所付近の狭隘な歩道の改修を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
鉄東線の歩道と高砂駅地下歩道の合流部はバスレーンの設置により歩道が狭隘な状態となっているため、歩道の改修等を行い歩行者の安全性を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	歩道の狭隘箇所	箇所	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	改修箇所	箇所	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	整備済箇所の割合	%	0	0	0	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	9,300
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	782
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	10,082

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	鉄東線歩道改修工事	工事費用 9,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	歩行者の安全性及を確保するため、歩道の狭隘した箇所の改修を実施する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						